

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

教科担当者：

使用教科書：（ Tutti I+ 高校生の音楽 1 大修館書店 ）

教科 芸術

の目標： 高等学校<音楽 I>基礎からの歌唱と器楽を取り組んで身につける

- 【知識及び技能】 ・歌唱ではさまざまな楽曲（日本語・英語・ドイツ語）の歌い方理解し基本的な唱法を身につける。
・器楽ではキーボード（ピアノ）やクラシックギターの初歩的奏法を身につけ楽曲を練習し深めていく。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌唱を通して表現力をつける。歌詞から作品の世界観をイメージして歌う。・器楽ではキーボード（ピアノ）やクラシックギターを通して自分で弾くことの楽しさや合奏の面白さを体感していく。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌唱へ向かう自身の態度。歌曲の練習を重ねていく中で心から歌う姿勢。器楽の個人練習を集中して取り組み課題曲を完成する意欲。豊かで充実した感性と情操を持った人間性を育む。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
“Technical”・歌唱ではさまざまな楽曲（日本語・英語・ドイツ語）の歌い方理解し基本的な唱法を身につける。・器楽ではキーボード（ピアノ）やクラシックギターの初歩的奏法を身につけ楽曲を練習し深めていく。	“Artistic”・歌唱を通して表現力をつける。歌詞から作品の世界観をイメージして歌う。・器楽ではキーボード（ピアノ）やクラシックギターを通して自分で弾くことの楽しさや合奏の面白さを体感していく。	“Allure”・歌唱へ向かう自身の態度。歌曲の練習を重ねていく中で心から歌う姿勢。器楽の個人練習を集中して取り組み、課題曲を完成する意欲。豊かで充実した感性と情操を持った人間性を育む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	A 単元：歌唱 ストレッチと発声練習 日本語の歌曲 英語の歌曲 （日本語訳歌詞と英語の発音練習） 正確な音程とリズムを把握する 楽曲の歌詞からイメージする世界観 を込めて歌う表現力の取り組み	・歌唱は2時間続きの授業前半1時間に行う。 ・教材：音楽 I 教科書およびプリントで配布する楽譜	○	○			○	○	○	14
	A 単元：器楽 鍵盤楽器 [キーボード・電子ピアノ] 正しい指使いで音階の練習 ハ長調から黒鍵3個以上用いる短音階まで右手左手両手練習 初心者向け簡単なピアノ曲	・器楽は2時間続きの授業後半1時間に行う。 ・プリントの楽譜を配布 ・一人1台のキーボードまたは電子ピアノを活用 可能な限り1人を1つのテーブルへ分配し、余裕のある練習環境で行う	○	○			○	○	○	14
	「少年時代」独唱テスト 1名ずつ音楽準備室へ来てピアノ伴奏を元に歌う。 独唱した後生徒ひとり一人へアドバイスをして次回へつなげる。	定期考査でペーパーテストは行わず実技・態度を重視する。 テスト後音楽室へ戻り、「記録シート」へ独唱の反省点や次への目標、1学期を振り返っての感想を記入する。	○	○			○	○	○	2
2 学 期	A 単元：歌唱 ストレッチと発声練習 日本語の歌曲 ドイツ語の歌曲 （日本語訳歌詞と英語の発音練習） 正確な音程とリズムを把握する 楽曲の歌詞からイメージする世界観 を込めて歌う表現力の取り組み	・歌唱は2時間続きの授業前半1時間に行う。 ・教材：プリントのギターポジションおよび楽譜を配布 ・ギターポジションを的確に覚えるために簡単な楽譜も記入する。	○	○						14
	A 単元：ギター [クラシック・ギター] ギターの名称・正しい構え方 音階のポジション練習 開放弦から4フレットまで用いた 簡易なメロディーを弾く	・器楽は2時間続きの授業後半1時間に行う。 ・一人1台のクラシック・ギターを活用し可能な限り1人を1つのテーブルへ分配し、余裕のある練習環境で行う 木製の傷が付きやすい楽器の大切な扱い方も学習の一つ	○	○						14